

としょかんだより

【下條村立図書館 162号 2023年1月15日発行】

今月、年中さんにもものがたり絵本をプレゼントするにこにこ絵本(セカンドブック事業)が始まります。12種類の絵本の中から1冊を選んでもらい、子ども一人ひとりに手渡しで贈呈します。自分で選んだ絵本を、身近な大人から読んでもらう至福の時間。親子で、“にこにこ絵本タイム”をどうぞお楽しみください。

としょかん大好き家族

PART129

上野原

田本さんご一家

年あけの開館日、元気な兄妹ふたり…田本匠くん(9歳・3年生)と藍子ちゃん(7歳・1年生)が、お母さんの様子さんと一緒にやってきました。ふたりとも、自分が好きな本がどこにあるかわかっていて、まっすぐに棚へ。本を選び、カウンターに「おねがいします!」と持ってきます。以前はもっとたくさん借りていたけれど、期限に返せるように、今は一人3~4冊にしているそうです。

匠くんは、お母さん手作りの図書袋、藍子ちゃんのリュックサックに借りた本を入れると、仲よくロビーの“わくわくはうす”でしばらく遊びます。その後、ふたりはお母さんと手をつないで家まで歩いて帰っていききました。



お母さんの様子さんは保育士という仕事柄、独身時代から絵本を学ぶ機会があり、気に入るとよく購入していました。匠くん、藍子ちゃんが保育園に上がるまでは、お母さんの絵本やおばあちゃんの持っていたロングセラー絵本を読みました。

その中で藍子ちゃんが気に入ったのは、『三びきのやぎのがらがらどん』(マーシャ・ブラウン作)です。「昔話が好き!」という藍子ちゃん、1~2歳のころ、よく公園で「がらがらどんごっこ」をして遊びました。トロルの役は、パパ・じいじ・ばあばに何回やってもらったことか…。絵本から、楽しみが倍增するごっこ遊びです!匠くんはというと、図鑑⇒恐竜⇒今は科学の本に熱中している野球少年です。

「学校の図書館でも、たくさん借りてくるんです…」とお母さんが言うと、藍子ちゃんが「もう貸出カード6枚目だよ」、匠くんが「おれ、9枚目!」…2人ともたいへんな読書家のようです!

匠くんが3歳のころ、お母さんが好きな絵本『めっきらもつきらどおんどん』(長谷川摂子作・降矢なな絵)を借りて読んであげると、とても気に入って、絵本の言葉を全部覚えてしまったそうです!

【もくじ】

- 1p としょかん大好き家族
- 2p 匠の会、寄贈本紹介
- 3p 読書会募集、作品展
- 4p 新刊ぴっくあっぷ

藍子ちゃんは1年生になってから、保育園の先生をまねして、お母さんに絵本の読み聞かせをします。「手遊びや紙芝居も…多い時には5冊ぐらい読むこともあるんです」と様子さん。本のいろいろな楽しみ方を、いつでも実行中の田本さんご一家でした(^^)ゞ



12月21日(水)の午後、3人の匠の会会員さんが、あしたむらんの門松飾りの飾りつけに来てくださいました。中心の三本の竹がスッと切られ、注連縄はしっかり縄われ、縁起の良さは天下一品です！

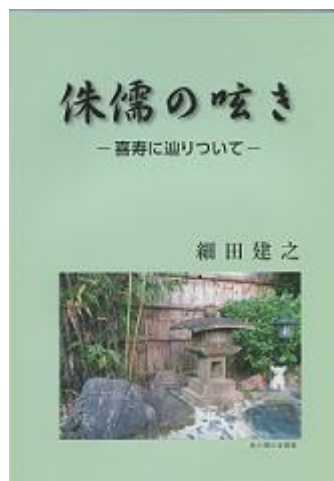
ありがとうございました_(:.:.)_

匠の会の皆さんによる 門松・小正月飾り



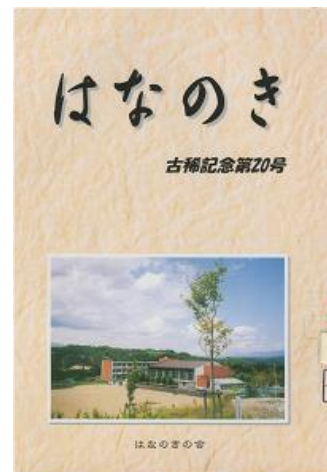
1月6日(金)の午後は、2人の会員さんが小正月飾りの飾りつけに。たくさん紅白のまゆ玉・丸い団子やキンカンの実・のし餅を飾りました😊

著書をご寄贈いただきました



小松原出身で阿知原在住の細田建之(けんし)さんが、ご自身で書かれた随筆(エッセイ)、創作文等を集めた文集を発行され、図書館にご寄贈いただきました。

はなのきの会による文集『はなのき』第一号の発行は昭和46年。本書は第20号を記念し書籍として刊行、平成26年に細田建之さんよりご寄贈いただきました。



『侏儒の呟き-喜寿に辿りついて-』細田建之著 令和4年11月8日発行*下條村の本コーナーN940ホ

『曹洞宗清慶山長松院誌』令和4年10月 長松院発行
発行責任者: 伊藤善人 総代長
編集責任者: 鈴木信孝 相談役



『はなのき 古稀記念第20号』はなのきの会(昭和35年度下條中学校卒業生)発行
細田建之編集 平成26年3月10日発行 *下條村の本コーナーN980ハ

清慶山長松院(阿南町富草)が開かれてから三百数十年の歴史をまとめた冊子です。*N184セ

図書館の本を見て 作ってみました展☆開催中！



「こんなもの♥作ってみました展」生嶋裕美さん（入野）2022.11～12＊作品を入れ替え2回展示しました
使った本：『手ぬいで作るベビー服とこもの』
『やさしい素材でつくるかわいい赤ちゃん小物』



「たたみのへりで☆作ってみました展」塚田美幸さん（新井）2022.11～
使った本：『たたみのへりを折る・縫う・つまむ
柄で彩る畳縁(たたみへり)の小もの』

読書会に参加しませんか？

4月(令和5年度)より、読書会を開いていきたいと思います。
読書会は、本をテーマにコミュニケーションをするイベントです。
大きく分けて、

1.輪読会形式 2.発表会形式
があります。

1.輪読会：1冊の本を全員で章ごとに順番で読んでいく⇒
皆で協力して理解できる
2.発表会：参加者が発表してお互いに学ぶ⇒

- ①課題本を決めて読む
- ②テーマに沿った本を、各人が持ち込み紹介する
- ③自由に、本を各人が持ち込み紹介する
どんな会にするかは、参加者の皆さんで決めます。
決める内容：①会の形式
②日程・頻度・時間・場所
③会のルールなど



「エコクラフトのかごを作りました展」井澤佐貴子さん
(飯田市/みんなの家下條勤務) 2022.12～
使った本：『作りたい使いたいエコクラフトのかごと小物』
『新装版エコクラフトで作る和風のかごバッグと小物入れ
総集編』『エコクラフトで作る大人スタイルのかごとバック』

読書会の参加者を募集します。

【募集要項】

対象：大人(本に興味がある)

期間：2月末まで

問合せ/申込先：

下條村立図書館

TEL：0260-27-3585

sjbook@vill-shimojo.jp

お気軽にお問合せください(^_^)

読書会のメリット

- 本との出会い
- 作者との出会い
- 主人公との出会い
- 本を読み切ることの達成感
- 同じ本(テーマ)に関して
ともに深く語り合える
- 本で人とつながる喜び